

このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

工事店様へ この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。



警告

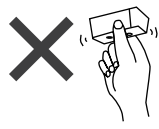


このような配線器具には取り付けない

※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



欠け 割れ



ガタつくもの



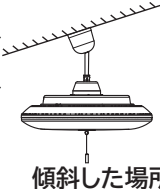
電源が露出しているもの

このような場合は、電気工事店に依頼して配線器具を交換してください。



このような場所には
取り付けない

※器具の落下によるけがの原因となります。



傾斜した場所



- 器具の分解や改造、構成部品の交換はしない
※火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない
※感電・故障の原因となります。



注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない
※過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない
※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)
※過熱し、火災の原因となります。
- 取り付け、取り外し、お手入れの際は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る。
※電源を切らないと感電の原因となります。
- スイッチ引きひもを強く引いたり、無理な力を加えない
※器具の落下によるけが・スイッチ故障の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない
※過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)
※火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない
※やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない
※器具の落下によるけがの原因になります。
- 器具を布や紙などで覆わない
※過熱し、火災の原因となります。

使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にきしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入ることがあります。

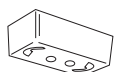
各部の名称と使いかた

※取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図を使用しています。

1. 器具を取り付ける前に

- 天井にこのような配線部品がついている場合は、電気工事なしで器具が取り付けられます。

角形引掛
シーリング



丸形引掛
シーリング



引掛埋込
ローゼット

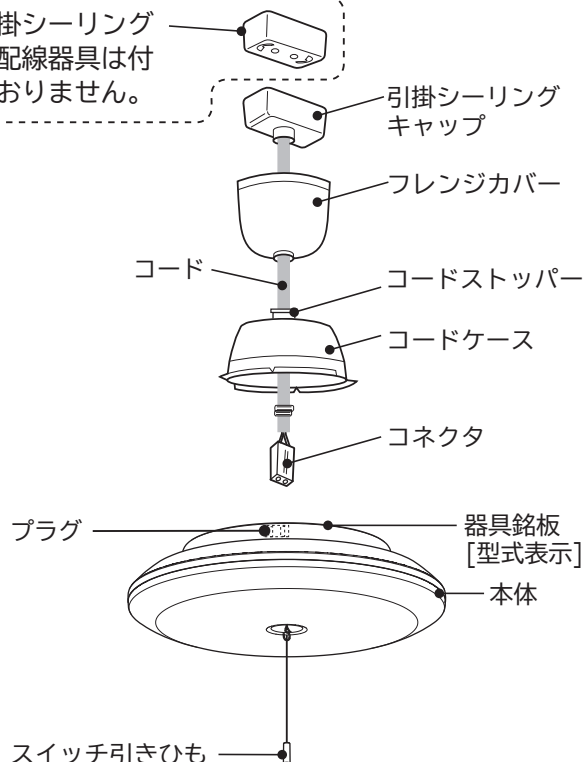


必ず守る

- 天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する ※工事には資格が必要です。

2. 各部のなまえ

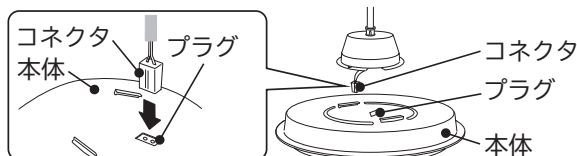
角形引掛シーリング
などの配線器具は付
属していません。



3. コードケースの取り付けかた

1

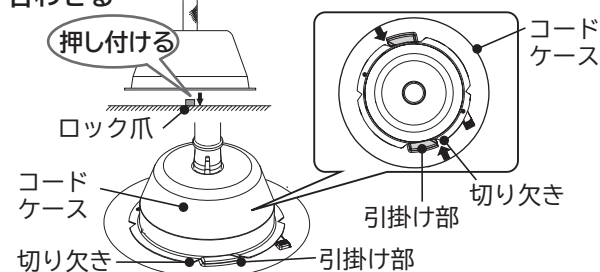
本体のプラグにコネクタをしっかりと差し込む



- 本体のプラグにコネクタをしっかりと差し込む
必ず守る ※接続が不完全な場合、火災の原因となります。

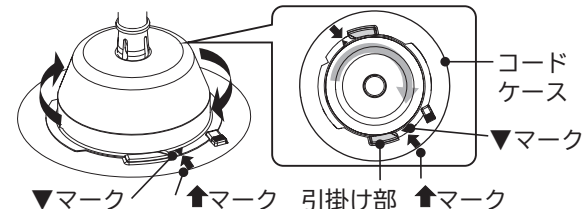
2

コードケースの切り欠きを、本体の引掛け部に合わせる



3

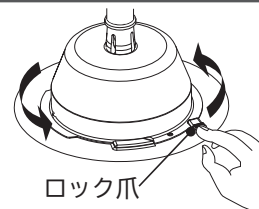
コードケースの▼マークと本体側の▲マークが合うまで、矢印の方向にいっぱい回す



- コードを軽く引っ張り、取り付け状態を確認する
必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

取り外しかた

コードケースを取り外す場合は、ロック爪を押しながら矢印方向に回してください。



4. 器具の取り付けかた

1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



●器具の取り付けの際は、電源を切る

必ず守る ※電源を切らないと感電の原因となります。

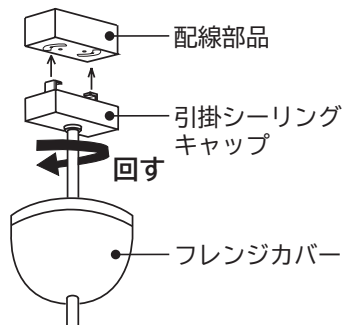
2

器具を持ち上げ、引掛シーリングキャップを天井の配線部品に差し込み、右方向にいっぱい回す



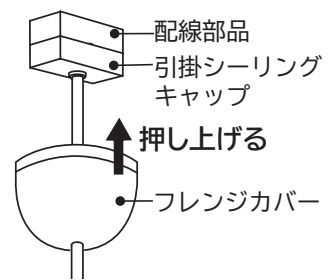
●確実に取り付けられているか確認する

必ず守る ※接続が不完全なまま使用した場合、火災、器具の落下によるけがの原因となります。



3

フレンジカバーを天井面に押し上げる



- 器具を外す場合は、上記の逆の順序で行ってください。
- 器具を置く場合は、平らな場所に静かに置いてください。

引掛シーリングキャップの外しかた

- 押しボタンを押しながら矢印の方向へ回してください。

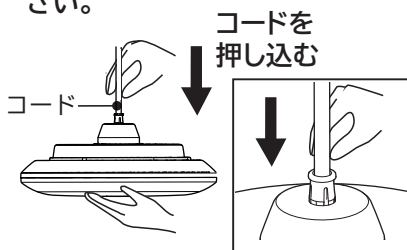


5. 器具の高さと向きの調整

器具を天井から外して調節してください。

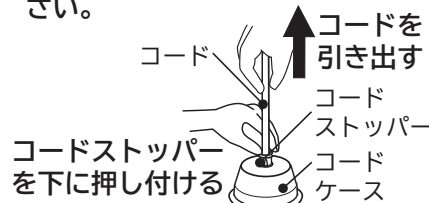
器具を上げる場合

コードを持って押し込んでください。



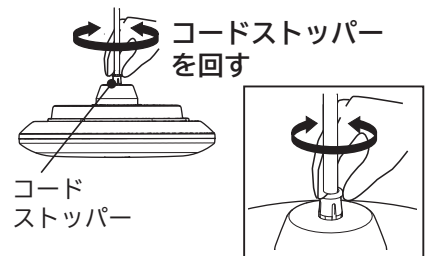
器具を下げる場合

コードストッパーを下に押し付けながら、コードを引き出してください。



向きの調整

コードストッパーを回してください。



6. 点灯・消灯のしかた

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を入れ、スイッチ引きひもを引くと下図のように点灯状態が切り替わります。

●点灯しない場合は、コードケースを外し(2ページ取り外しかた)、コネクタの接続を確認してください。



※全灯の約60%の明るさで点灯します。

7. お手持ちの日立製蛍光灯ペンダント用カバーを使う



●カバーは正しく取り付ける

必ず守る

※傾いたまま使用した場合、火災の原因となります。

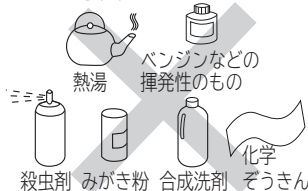


●引掛シーリングキャップ、コード、フレンジカバー、コードストッパー、コードケース、コネクタは同梱のものを使用する

必ず守る

別紙の「お手持ちの日立製蛍光灯ペンダントのカバーをお使いいただくには」をご覧ください。

保守とお手入れ

！ ●取り付け、取り外し、お手入れの際は、必ず電源を切る ※電源を切らないと、感電の原因となります。 ※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。 ！ ●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす 汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる ※石けんとは、天然油脂を原料としたものです。 (商品表示が“石けん”であることを確認してください。)	壁スイッチやブレーカを切る	禁止 ●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない ※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。  熱湯 ベンジンなどの揮発性のもの 化学 殺虫剤 みがき粉 合成洗剤 ぞうきん
---	-----------------------------	---

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	LED保安灯 点灯時消費電力
LEKP-AA8E (～8畳)		交流 100V	50/60Hz共用	31.0W	約1.0W

保証とアフターサービス

- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(器具銘板に表示)・現象を連絡のうえご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口	修理に関するご相談窓口
TEL 0120-3121-11 携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料) FAX 0120-3121-34 (受付時間)9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。	TEL 0120-3121-68 携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料) FAX 0120-3121-87 (受付時間)9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
保証期間中は・・・修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。	
保証期間が過ぎているときは・・・修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。	
保証期間・・・お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：5年、本体：1年です。 (詳しくは保証書をご覧ください。)	

- 「持込修理」及び「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社へ個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

 **日立グローバルライフソリューションズ株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03) 3502-2111

別紙

お手持ちの日立製蛍光灯ペンダントのカバーをお使いいただくには



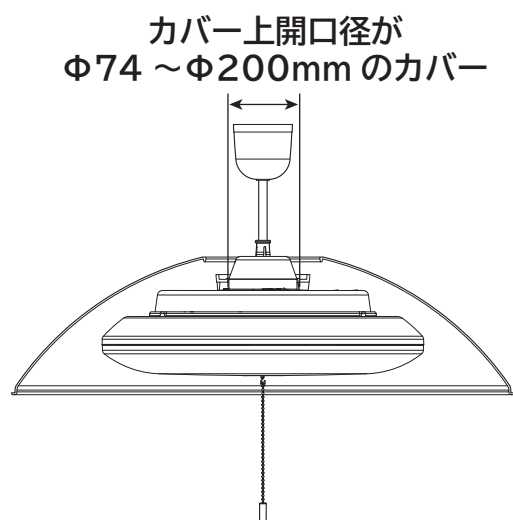
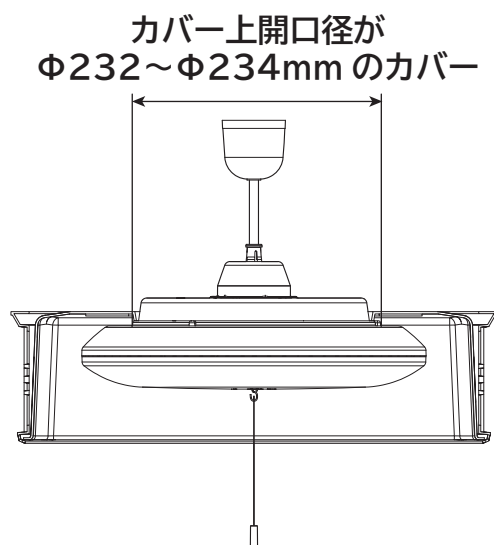
必ず守る

●カバー上開口径寸法を満足するカバーを取り付ける



禁止

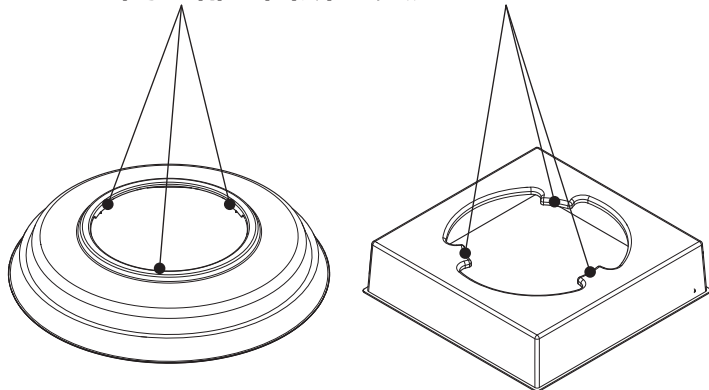
●他メーカー製のカバーは取り付けない



※お使いいただくカバーの形状により、定格光束は変わります。

カバー上開口径寸法を満足しても下記の場合は取り付けできません。

上開口部3箇所に突起のあるもの



チェーン吊り下げ式

